

各委員の意見とコンセプトとの対応

各委員の意見	コンセプトにおけるあり方
<p>マスタープランの作成時とコンセプトが変わっていない。</p>	<p>大学として目指す方向性「オンラインの大学力」や、そのためのキーワード「愛・知・芸術の森」は変わらない。これらを軸として大学の施設やカリキュラムを考えていきたい。</p>
<p>大学としてのビジョンや教育研究の在り方等、変わらないもの（ソフト）と、施設整備のように状況に応じて変わるもの（ハード）がある。</p>	<p>「愛・知・芸術の森」は、今後の教育研究の在り方の中心となる考え方である。それを補完できるように施設整備を進めていく。</p>
<p>現在のキャンパスはメンテナンスが全くなされていない。施設の維持管理をしないのであれば、コンセプトを話し合っても意味がない。</p>	<p>〈環境〉の[整備の観点]にある「サステナビリティと永続性」が施設の維持管理を含んでいる。環境に配慮し、長寿命のキャンパスを目指す。</p>
<p>学生や教職員等、建物を使う側のことも反映させたほうがよい。</p>	<p>〈教育・研究〉において、本学の教育研究活動に基づいた施設整備のあり方を提示した。また、〈生活〉においても豊かなキャンパスライフが送れるよう配慮していきたい。</p>
<p>古い建物を保存、改修して使うことも大切である。</p>	<p>コンセプトに基づき、利活用できる建物を検討していきたい。</p>
<p>豊かな緑に囲まれたロケーションや、設計者が考えた建物の配置、景観を損ねないように、十分検討すべきである。</p>	<p>現キャンパスのランドスケープは継承すべきだと考えている。〈環境〉において、景観に配慮したビジョンを検討していきたい。</p>